

CASBEE[®]新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)ヒーローマンション万代4・A棟新				
建設地	中央区 万代4丁目2464番の一部				
用途地域	近隣商業地域、準防				
建物用途	集合住宅				
竣工年	2014年7月 予定				
敷地面積	693.22 m ²				
建築面積	265.08 m ²				
延床面積	2,416.76 m ²				
階数	地上10F				
構造	RC造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	#####				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46}{44} = 1.0$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.2		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.1		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		節水	LR2.1.1	3.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
資源の再利用化促進のために、材料及び工法の選定に配慮した。					

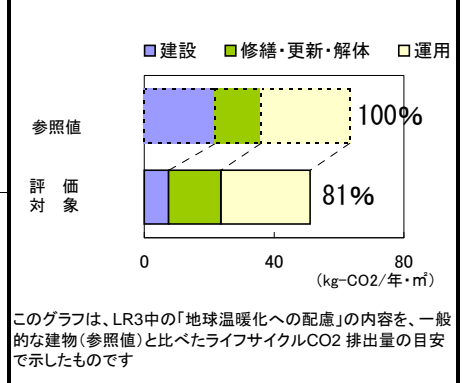
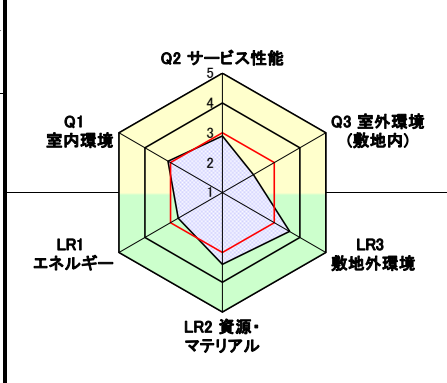
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

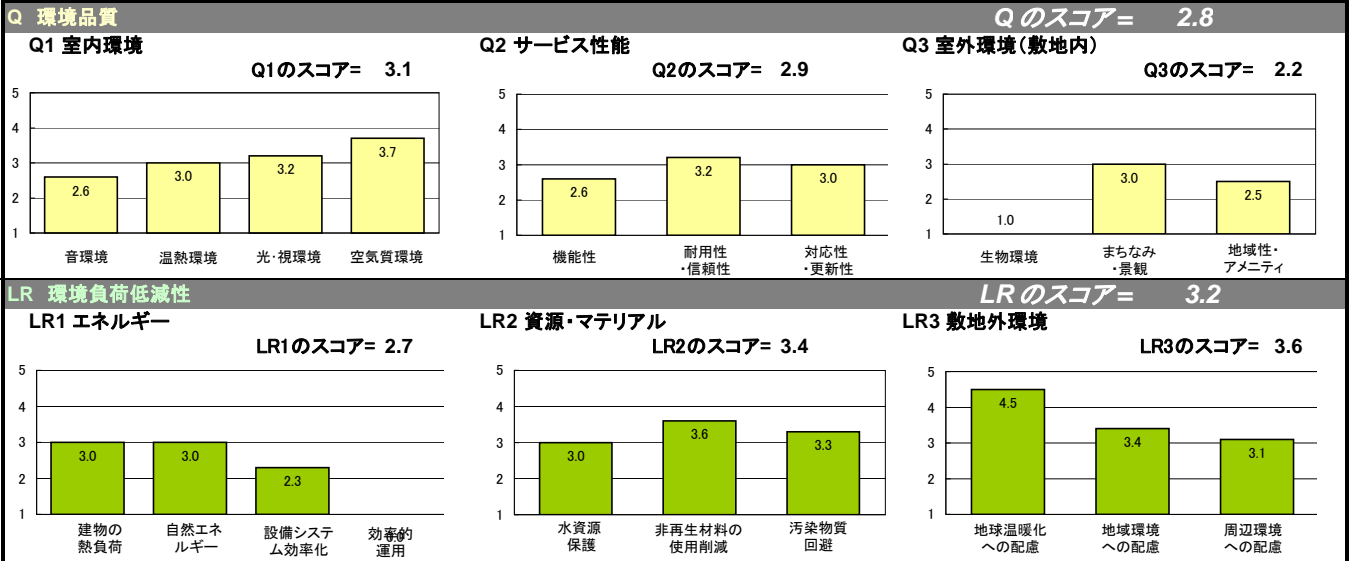
評価結果内訳

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル, CASBEE-新築(簡易版)2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 建設地は信濃川沿いの中心市街地であり、既設分譲マンションなどが多数存在している。同様の集合住宅として周辺へなじむよう配慮した。		その他 断熱型枠を採用し、合板型枠を削減する事で温暖化抑制に配慮した。
Q1 室内環境 居室の窓面を大きくし、バルコニーを硝子手摺とする事で、室内の十分な明るさがえられる様に配慮した。	Q2 サービス性能 建物の用途上、配管類の更新は出来るだけ避けたいので耐用年数の長い配管材料を採用し更新間隔の長期化に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の高さ、仕上材料などは周辺の街並みと調和が取れるようにし、ピロティ部分で日影が多く作れるように配慮した。
LR1 エネルギー LED照明器具の採用によって消費エネルギーの削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 資源の再利用化を高くするために各材料、工法の選定に配慮した。	LR3 敷地外環境 オール電化とすることで敷地外への温熱環境低減に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい